

平成27年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（案）

日 時 平成27年10月5日（月）14：10～16：40
場 所 医学部管理棟3階 大会議室
構 成 員 8名（出席者 7名，欠席者 1名）

（委 員）

10号委員（がんセンター長）	増田 昌人
15号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
15号委員（那覇市立病院）	友利 寛文
16号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
16号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
16号委員（沖縄県立八重山病院）	上盛 厚子
19号委員（沖縄県保健医療部）	国吉 秀樹（欠席）
19号委員（琉球大学医学部総務課長）	金城 邦光

（陪席者）

沖縄県立中部病院	新屋 洋平
琉大病院がんセンター	井岡 亜希子，呉屋 葉子，高橋 ユカ

議事・部会報告事項

1. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（7月27日開催）

議長から，資料1に基づき説明があり，審議の結果，原案どおり了承された。

2. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（8月7日開催）

議長から，資料2に基づき説明があり，審議の結果，協議会へ諮ることが了承された。

また，厚生労働省各種審議会報告に関連し，今後「がん対策基本法」の改正や「がん対策加速化プラン」に関する動きが予想されることから，各機関とも動向に注視しておくよう発言があった。

3. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事録（8月7日開催）

議長から，資料3に基づき説明があり，審議の結果，協議会へ諮ることが了承された。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

議長から，資料4に基づき，委員の変更について報告があった。

なお，相談支援部会において，一部変更が反映されていない箇所があると判明したため，協議会へは修正の上報告することとした。

審議事項

1. 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価について

琉大病院がんセンター井岡特命助教から，資料5に基づき，以下のとおり進捗状況等が説明された。

- （1）5大がん以外のがんについては，「希少がん」ではなく「比較的少ないがん」と表記することを提案する。「希少がん」と定義されているものは該当が少なくカバー率が低いため，疾病の範囲を広げる趣旨である。
- （2）沖縄県の死亡率減少の程度は小さいため，死亡割合の大きい4つのがん（大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がん）に焦点を当てるべきと考え施策・指標マップを作成する。4つのがんとも目標（分野アウトカム）は「死亡が減少する」となり，4つのシートを比較できるようにする。
- （3）部会等での検討内容を踏まえて随時マイナーチェンジをしている。

議長からは、昨日・一昨日開催した検討会での検討内容を踏まえ、次回の協議会(11月13日)までには図表を整理し、施策に関しても代表指標に止め、それ以外の指標は別紙表示する形式で提示する旨の補足説明があった。

また、主に以下のとおり質疑があった。

- ・ 推進計画の具体的な評価対象は何か
 - がん計画で行われている「がん対策」を評価するものであり、概ねがんの死亡率減少やがん医療を評価することになると考えられる
- ・ 「限局割合」と「早期」という言葉の定義が明確でない
 - ステージⅠとⅡの一部までは限局と捉えられる。所属リンパ節転移は「早期」に含まれない。
- ・ 治療のカバー率はどこまで含むのか
 - 第6次医療計画にある専門医療機関まで含まれている

次いで、琉大病院がんセンター井岡特命助教から、患者・家族調査及び医療者調査(アンケート)について以下のとおり説明があった。

- (1) 患者・家族調査については、拠点病院・診療病院・支援病院の6病院で考えており、前回提示分と若干変更がある。県と調整する必要があり更なる変更も考えられる。
振り分けについては、院内がん登録の比率に応じて合計2000となるよう調整予定である。
- (2) 医療者調査は上記病院に専門医療機関を加えた20施設を対象とする予定である。
機関の割合としては拠点病院200、支援病院等100、診療所等50となり、職種の割合としては、看護師50%、医師30%、薬剤師10%、ソーシャルワーカー5%、がん対策に携わる事務職5%となるように考えている。

また、議長から、国はすでに両調査を終えており報告書も提出していること及び本県では負担の軽減からアンケートのボリュームを三分の一としている旨の補足説明があった。

2. 協議会の主催・共催・後援に関する内規の改訂について

議長から、資料6に基づき、記載内容が分かりづらいとの意見を受け明確にするため改訂する旨の提案説明があり、審議の結果原案どおり了承され、次回の協議会へ報告することとした。

3. 院内がん登録データ集計に関する許可と協力依頼について

議長及び琉大病院がんセンター高橋職員から、資料7に基づき以下のとおり許可または協力を得たい旨の説明があった。

- (1) がん診療連携拠点病院院内がん登録および都道府県推薦病院院内がん登録全国集計資料の集計と分析についての許可
- (2) 沖縄のがん罹患とがん死亡の現状に合わせたがん種の集計と分析についての許可
- (3) 各疾患専門医のコメントを入れることについての許可
- (4) 公開方法についての許可
- (5) 各施設での医療圏別集計の協力
「離島でも治療できるがん」「医療圏ごとのカバー率」などを集計報告書に掲載する趣旨
- (6) 施設概要、病院長のコメントの協力

次いで、(5)各施設での医療圏別集計の協力に関連し、各施設からのデータ提供の在り方等について以下のとおり質疑があった。

- ・ データ提供する場合の作業について労力はどの程度かかるのか。負担が大きければ簡単には了承できない。実務者や病院長了承も必要と考える。
 - がん登録部会ですでに協議会施設(6施設)の実務者から了承を得ている。マニュアルを見てもらって作業をすれば1時間程度となる。
- ・ 具体的な作業はどのようなものか。
 - 各病院は品質ツールを用いてデータを抽出している。各病院保管分は個人情報が含まれるデ

ータのため、各施設に関数を組み込んだエクセルファイルを配布し、そのエクセルに琉大病院がんセンターが指定した院内がん登録標準項目データを入力（コピー&ペースト）し、集計によって得られた実数のみ（個人情報を含まない）を提出していただくこととする。医療圏別集計以外は国立がん研究センターから返還のあったデータはそのまま提供いただくこととなる。※上記の説明に対しては、コピー&ペーストもデータが膨大であれば誤った作業をしてしまう可能性もあるので、エクセルでマクロを組んで簡素化して欲しいとの意見もあった。

- ・医療圏別集計の期間はどのくらいか。
→ 2013年の1年間のみである。
- ・診療情報管理士がない病院はどうするのか。
→ 琉大病院がんセンターが外向いて抽出を補助する前提で各病院へ許可をいただく。6病院以外へも順次、データ集計への参加をお願いしていきたい。

その他、下記のとおり補足説明があった。

- ・5大がんだけでは不足していることから別紙に示した疾患も含める。
- ・専門家のコメントには診療部長クラスを想定している。
- ・公開方法の「報告書のデータをウェブシステムで公開すること」については、患者が端末上にてクリックをすると図表がでる仕組みを構築中である。（検索システムのようなものを想定）
- ・これまで3拠点病院で報告書として発行してきたものを全県的に行いたい。
- ・5年生存率は載せる予定である。（琉大+那覇市立）

なお、委員からは、この文章に目的・要点を入れるべきとの意見があり、議長からは、整理・見直しをした上で発送する旨の回答があった。

総括としては概ね了承された。

4. 平成27年度の協議会・幹事会の開催に日時について

議長から、資料8のとおりに進めていく予定である旨の説明があった。

5. 平成27年度第3回協議会の議題調整について

議長から、資料9のとおり次週の協議会の調整を行う旨説明があった。

なお、審議事項となっている「協議会の主催・共催・後援に関する内規の改訂について」は報告事項へ変更することとした。

報告事項

1. 全国がん登録に関して、沖縄県の準備状況について

議長から、資料10に基づき報告があり、12月4日開催の実務者向け説明会への出席について各施設へ要請があった。

また、指定診療所については原則立候補制であるが、福島県は以前から義務化しており、本県も村立診療所を含め全て多くの診療所（特に婦人系、内視鏡実施施設）の参加を期待する旨の発言があった。

2. 第52回・第53回がん対策推進協議会について

議長から、資料11に基づき新規の委員で協議会が開催された旨の報告があった。

なお、がん対策加速化プラン等の策定により、次年度のがん対策関係の概算要求が増える可能性があるとの補足説明があった。

3. がん対策を加速し、全国のがん医療水準の向上を実現するための都道府県がん診療連携拠点病院の体制整備に関する提案について

議長から、資料12に基づき、事務局機能の充実や臨床試験促進のためのCRC（地検コーディネーター）雇用などの体制整備が提案されている旨の説明があった。

4. 第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、平成27年度第4回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）

議長から、資料13に基づき、HPVワクチン副反応の追跡調査結果が発表されたこと及び「ワク

チン接種後に生じた症状に対する診療の手引き」がホームページからダウンロードできる旨の説明があった。

5. 第9回HTLV-1対策推進協議会

議長から、資料14に基づき報告があった。

6. 希少がん医療・支援のあり方に関する検討会（報告書）

議長から、資料15に基づき報告があった。

7. 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センターの活動報告

議長から、資料16に基づき、ケアマネージャーを対象として64名の研修参加があった旨の報告があった。

8. 沖縄県統括相談支援センターの活動報告

議長から、資料17に基づき、がんピアサロンの実施と宮古・八重山医療圏の各がん医療連携協議会の開催について報告があった。

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

議長から、資料18に基づき報告があった。

2. がん登録部会

議長から、資料19に基づき報告があった。

3. 研修部会

議長から、資料20に基づき報告があった。

4. 相談支援部会

議長から、資料21に基づき報告があった。

5. 地域ネットワーク部会

議長から、資料22に基づき報告があった。

6. 普及啓発部会

議長から、資料23に基づき報告があった。

7. がん政策部会

議長から、資料24に基づき報告があった。

その他

(1) ハローワークによるがん患者の就労支援について

朝倉委員から、マスコミに記事として取り上げられているハローワークによるがん患者の就労支援について見込みはどうかの確認があり、議長からは、今後進展があるものと思われる旨の発言があった。また、相談支援部会では社会保険労務士を講師として招聘し研修を開催した旨の報告があった。

(2) 第3回沖縄県がん診療連携協議会について

議長から、第3回協議会に厚生労働省がん対策専門官 秋月氏をお呼びする旨の説明があった。また、がんポスターコンテスト審査があることから時間に余裕を持って来場するよう呼びかけがあった。

(3) 拠点病院相互訪問調査（好事例の共有等）について

友利委員から進捗状況について確認があり、議長からは次回の幹事会で提案する予定である旨の説明があった。

(4) 沖縄県のがん対策に関するタウンミーティングの開催について

議長から、配付資料に基づき11月15日開催のタウンミーティングの参加呼びかけがあった。

